



ペンネーム	唐獅子亀さん
-------	--------

【エピソードのタイトル】

亀さんの還暦マラソン

【エピソードの内容】

私が第一回下関海響マラソンを知ったのは、東京で単身赴任中の時でした。その年（第一回下関海響マラソン）は、私の還暦の年であり、また9月に定年退職で単身赴任を終えて下関へ帰る年でした。

走ることが子供のころから苦手な私が、還暦の記念と新たなチャレンジとして、マラソンという大それたことを思いついたのは、第一回東京マラソンを沿道で応援してみて、実際走ったらさぞいい気分だろうなと思ったからでした。

早速ランニングを始めてみたが、500mでも息切れ、ひざ痛、腰痛とさんざんでした。でも、皇居周辺コースなどで、少しずつ練習を続け、下関に帰ってからは、妻と一緒に関門人道トンネルや、あるかポート周辺で練習を重ねました。

5時間でゴールを目標に第一回下関海響マラソンをスタートしました。

沿道での市民の声援に背中を押ししてもらいながら、30km付近の自分の弱気との戦いも乗り越え、ゴール手前で時計表示を見ると、まだ、5時間前でびっくり、ゴールは、何とびっくり4時間48分でした。

持参の缶ビールで乾杯。

それ以降、4回連続で完走は出来ていますが、タイムは、少しずつダウンしています。タイムオーバーする時まで、自分自身のかんばろうメーターとして、下関海響マラソンを走ります。

今年も、ゴールして缶ビールで乾杯。連続出場と70歳古希の完走めざして。